

## 化学機器技術センターで開放している機器

	設置機器の名称	ニックネーム		機能	これまでの納入台数	この機器で作られる製品例
			ニックネームの由来			
1	横形遠心薄膜蒸発器	コントロールちゃん1号	遠心薄膜蒸発器の俗称であるコントロールの名称は、1963年、コントロール社から技術導入した製品であることが由来であり、当時よりお客様からも「コントロール」の愛称で浸透・親しまれております。 今回の実験機ユニットでは、このコントロールを社内外により浸透、ご愛顧頂きたいとの思いを込めて、親しみやすく「コントロールちゃん」と名付けました。	内部ロータの回転による遠心力で容器内壁に薄い液膜を形成し、容器外壁（ジャケット）より熱を加えて蒸発させ、沸点の差で分離する機械です。  ロータで強制的に薄膜液とするので、高粘度液も効率よく、短時間で処理でき、生産効率向上や被加熱物の熱劣化を抑制できます。	1000台（1963年～）	化学（カプロラクタム、エポキシ樹脂、PP、接着剤、インク、ゴム、洗剤等）、薬品（抗生物質、ビタミン等）、食品（果汁、キャンディー等）  スーパーで一般販売されている某銘柄のキャンディーや飴は、弊社コントロールによって製造されております。
2	立形遠心薄膜蒸発器	コントロールちゃん2号				
3	高粘度用重合器	メガネ君1号	攪拌羽根がメガネ形状であることから、日本国内、ヨーロッパのお客様からも「メガネ」の愛称で浸透・親しまれております。 前述「コントロールちゃん」に併設されていることもあり、お友達的なネーミングとし、このメガネ重合器ユニットを「メガネ君」と名付けました。	超高粘度の樹脂を攪拌混合することで、更に重合（高分子化）させる機械です。  二軸のメガネ形状攪拌翼は、相互掻き取り効果でシャフトへの超高粘度液の付着を防ぐ（セルフクリーニング）だけでなく、広い気液界面積を生み出し、重合反応速度が速くなり、生産効率向上や被加熱物の熱劣化を抑制します。	200台（1967年～）	PET、PC、POM、PLA、PBAT 生分解性プラスチックなど  透明なペットボトルの市場普及に弊社の高粘度用重合器が貢献してきました。